

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	86	事業名	平成こども塾事業	担当部課	建設部みどりの推進課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款－項－目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 平成こども塾マスタープラン、里山プラン、里山基本計画等		9-4-1 社会教育総務費	
	事業開始の背景、経緯等	平成11年に策定された第4次総合計画の柱の一つ。環境緑地系プロジェクトとして「長久手田圃バレー構想」が実施された。その子ども版プロジェクトとして平成18年4月に「長久手町(現市)平成こども塾がオープンした。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・平成こども塾の施設管理、運営等を行う。 ・地域の環境や自然についての学習活動 ・学習活動を通じた異世代の人との交流 ・学校連携活動				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 小、中学生				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 里山の豊かな環境を生かした体験活動による子どもたちの生きる力の育成				

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	事業費(A)	千円	予算	12,365	12,426	14,614	15,351	19,025
			決算	11,590	11,647	14,297	14,802	
人件費(B)	千円	決算	15,405	21,164	17,736	14,219		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	26,995	32,811	32,033	29,021		
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		4,427	4,111	4,342	4,224	4,200	
対象あたりコスト(C/D)	千円		6	8	7	7		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	参加者の満足度	%	目標	85	85	85	90	90
		実績	98	98	98	97		
(指標の設定根拠)		(数値目標の根拠)						
平成こども塾条例第1条(設置目的)を実現するにあたり、最も適切な指標であるため。		プログラム終了後に4段階評価のアンケートを実施し、上位2段階(とてもよかった、よかった)を満足度が高いと評価・集計して、90%以上を目指す。						
(前年までと変更した場合はその理由)								

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 参加者に大きなけがもなく、参加者の満足度も高かった。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、市の方針により令和2年2月29日から3月末まで休館として、プログラムは中止にした。その休館日を利用して、日頃できない施設の点検・補修や用具の整理・整頓をしている。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業において、講師の高齢化が課題となっている。

事業を構成する事務事業①	平成こども塾管理事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
(2) 【アクションプラン】 長久手版プレーパーク整備箇所数	箇所	見込 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1	
(3)								
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 2月29日から3月にかけて、次の作業を実施した。収納のための大型の棚(3基)を製作。建物の西側法面に安全確保のため、木製階段を2か所整備。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	平成こども塾企画事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績	150 176	150	150	150	150
(2) 【アクションプラン】 平成こども塾による体験学習事業の実施回数【単年】	回	見込 実績	206 201	200	200	200	200	
(3)		見込 実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 令和2年2月下旬までは、プログラムを予定どおり消化していたが、令和2年2月29日以後は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から平成こども塾を休館してプログラムを中止した。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業③	平成こども塾管理事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】	人	見込 実績						
(3)		見込 実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) かまどを含む平成こども塾の施設管理・保全を定期的に行いつつ、プログラムの内容をより充実させる。平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業の講師の新規参加促進と育成を行う。プログラム内容のさらなる充実・向上を図る。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 2026年を見据えた方向性。1プログラムの展開、2学校連携プログラムの充実、3子ども同士のコミュニケーションの促進、4管理運営の方法等について検討を進める。(「平成こども塾マスタープラン」第5章平成こども塾の今後の方向性についてより抜粋。)

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・コロナ禍の状況において、今後の事業の方向性、学校との連携方法等について検討してください。 ・特定財源の確保について検討してください。
内部意見への回答		